

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成25年12月19日(2013.12.19)

【公開番号】特開2013-177388(P2013-177388A)

【公開日】平成25年9月9日(2013.9.9)

【年通号数】公開・登録公報2013-049

【出願番号】特願2013-42001(P2013-42001)

【国際特許分類】

A 6 1 K	38/00	(2006.01)
A 6 1 P	25/00	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 P	25/28	(2006.01)
A 6 1 P	9/00	(2006.01)
A 6 1 P	25/14	(2006.01)
A 6 1 P	25/16	(2006.01)
A 6 1 P	21/00	(2006.01)
A 6 1 P	3/10	(2006.01)
A 6 1 K	38/22	(2006.01)
A 6 1 P	25/02	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	37/02	Z N A
A 6 1 P	25/00	
A 6 1 P	43/00	1 0 7
A 6 1 P	25/28	
A 6 1 P	9/00	
A 6 1 P	25/14	
A 6 1 P	25/16	
A 6 1 P	21/00	
A 6 1 P	3/10	
A 6 1 K	37/24	
A 6 1 P	25/02	

【手続補正書】

【提出日】平成25年11月1日(2013.11.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

運動ニューロン栄養因子(MNTF)ペプチドを含む、インスリン受容体及び/又はインスリン様成長因子(IGF)受容体を活性化させるための組成物。

【請求項2】

前記MNTFペプチドが配列番号：1又は配列番号：4の配列を有する、請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

前記インスリン受容体及び/又はインスリン様成長因子受容体が、インスリン受容体、IGF-1受容体及びIGF-2受容体からなる群より選択されるいずれか1つ以上である

、請求項1又は2に記載の組成物。

【請求項4】

前記活性化は、インスリン受容体のTyr972およびTyr1162/1163の自己リン酸化である、請求項1又は2に記載の組成物。

【請求項5】

前記インスリン受容体又はインスリン様成長因子受容体が、胚性幹細胞に存在するものである、請求項1~4のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項6】

前記インスリン受容体又はインスリン様成長因子受容体の活性化により、前記胚性幹細胞が胚様体の形成を介して神経幹細胞へ分化する、請求項5に記載の組成物。

【請求項7】

前記インスリン受容体又はインスリン様成長因子受容体の活性化により、前記胚性幹細胞が胚様体の形成を介して運動ニューロンへ分化する、請求項5に記載の組成物。

【請求項8】

前記胚様体が前記MNTFペプチド及びレチノイン酸の存在下で形成される、請求項6又は7に記載の組成物。

【請求項9】

前記胚性幹細胞が哺乳動物由来の胚性幹細胞である、請求項5~8のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項10】

前記胚性幹細胞がヒト胚性幹細胞である、請求項5~9のいずれか一項に記載の組成物。